

## ＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

## 匝瑳市地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和5年3月）

	目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
1	市内循環バス利用者数： 51,549人/年（令和元年度） ⇒46,394人/年（令和9年度）	市内循環バスの利便性向上と効率的な運行を行うため、利便増進実施計画に基づいた再編を行った。	バス事業者の有する乗降データを用いて算出	44,674人（令和5年3月末現在）	令和5年4月から再編した市内循環バスの案内を掲載した公共交通マップを配布し、利用促進を図る。	
2	地域交通利用料助成事業利用者数：821人/年（令和元年度）⇒979人/年（令和9年度）	市ホームページや市広報紙へ事業内容を掲載し、周知を図った。 事業内容を掲載した公共交通マップを作成・配布し、更なる周知を図った。	地域交通利用券を用いて算出	832人（令和5年3月末現在）	市ホームページや市広報紙へ掲載と公共交通マップの配布を行い、事業の周知を図る。	
3	公共交通サービス全般の利用者満足度：36.6%（令和2年8月）⇒39.2%（令和9年度）	市内公共交通全般の案内を掲載した公共交通マップを作成・配布した。	市民アンケート調査	—	公共交通マップを配布することで利用者の利便性向上へとつなげる。	令和9年度に予定
4	市内循環バス利用者満足度：74.1%（令和2年8月）⇒79.3%（令和9年度）	令和5年4月から再編した市内循環バスの案内を掲載した公共交通マップを作成・配布し、利用促進を図った。	市内循環バス利用者アンケート	—	公共交通マップを配布し、利用促進を図る。	令和6年度及び令和9年度に予定
5	八日市場駅1日平均乗車人員：1,762人/日（令和元年度）⇒1,674人/日（令和9年度）	令和4年4月17日から5月8日まで、7月23日から8月11日まで駅からハイキングを実施した。	鉄道事業者の有するデータを用いて算出	1,435人（令和5年3月末現在）	鉄道の利用を促進する企画切符等の周知や、駅からハイキングの開催を検討する。	

	目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
6	高速バス（匝瑳・富里～東京線）年間乗降者数：9,416人/年（令和元年度）⇒6,591人/年（令和9年度）	市ホームページや公共交通マップを通じて周知を図った。	バス事業者の有する乗降データを用いて算出	864人（令和5年3月末現在）	市ホームページや公共交通マップを通じて、利用の周知を図る。 ①令和4年9月17日からダイヤ改正により匝瑳～多古間が廃止になり、多古台バスターミナル～東京間の運行となった。 ②匝瑳市については、新たなバス路線として銚子東京線（匝瑳・横芝光ルート）の運行を令和4年9月17日から開始した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェイールバス関東株 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 全体20,821人/年</li> <li>▶ 市内0人/年</li> </ul> </li> <li>・ 千葉交通株 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 全体68,778人/年</li> <li>▶ 市内864人/年</li> </ul> </li> </ul>
7	交通結節点整備箇所数：－⇒4箇所（令和9年度）	令和5年4月から再編を行う市内循環バスの乗り継ぎを考慮したダイヤ作成を行い、乗り継ぎ強化を図った。	－	－	市ホームページに八日市場駅からの各種バスの乗り場案内を掲載する。	
8	運行情報案内に関する利用者満足度：41.8%（令和2年8月）⇒44.7%（令和9年度）	公共交通マップ掲載情報等について検討し、作成・配布を行った。	市民アンケート調査	－	市ホームページや公共交通マップを通じて、周知していく。	令和9年度に予定
9	商業施設などとの連携による利用促進活動の導入件数：－⇒1件以上（令和9年度）	他の自治体の先進事例の調査を行った。	－	－	「おでかけモデルプラン」について検討・作成するとともに、割引サービス・企画切符等の導入を検討していく。	
10	乗り方教室参加者数：－⇒延150人以上（令和9年度）	他の自治体の先進事例の調査を行った。	－	－	市内循環バスの乗り方教室の開催に向けて、教育委員会やバス事業者と調整を行う。	
11	市内循環バス収支率：10.6%（令和元年度）⇒12.0%（令和9年度）	利便増進実施計画に基づき、市内循環バスの利便性向上と効率的な運行を行うための再編を行うとともに、デマンド型交通の運行に向けた準備を行った。	バス事業者の有するデータ及び令和4年度一般会計決算から算出	運賃収入額713万円÷運行経費8,920万円＝8.0%（令和4年度）	令和5年4月から再編した市内循環バスの案内を掲載した公共交通マップを配布し、利用促進を図る。	

	目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
12	公共交通への公的資金投入額：8,057万円（令和元年度）⇒8,057万円以内（令和9年度）	利便増進実施計画に基づき、市内循環バスの利便性向上と効率的な運行を行うための再編を行うとともに、デマンド型交通の運行に向けた準備を行った。	バス事業者の有するデータ及び令和4年度一般会計決算から算出	市内循環バス8,207万円＋地域交通利用料助成事業987万円＋デマンド型交通運行事業137万円＝9,331万円（令和4年度）	市内循環バスの再編や、デマンド型交通の導入及び公共交通の利用促進により、公的資金投入額の削減を目指す。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。